



看護師のケアマネジメント力を介護負担軽減と二次障害の予防に活かす ～老人介護施設における看護師の役割とノーリフト推進～

社会福祉法人弘陵福祉会 特別養護老人ホーム 六甲の館

兵庫県神戸市
70床 / 職員数 50名 (うち看護職員数 4名)



課題・背景

- ①利用者の高齢化・重度化によって介護職員による**移乗介助業務が増加**
- ②介護職員の腰への負担が増え、**職員の健康リスクが上昇**
- ③人力での**移乗介助によるインシデント** (四肢の内出血・表皮剥離・転倒) と**二次障害** (褥瘡改善の遅延・拘縮の悪化) への対策が必要な状況

目的・目標

ノーリフトケアを本格的に導入し、利用者・職員の双方にとって安心安楽なケアの提供を実現

①看護師と介護士の連携強化

- ▶トータルアセスメントで利用者のニーズを抽出し、アプリケーションを用いて迅速に情報を共有し合える環境を作る

②業務改善による職員の身体的負担の軽減

- ▶リフト増設によって業務時間・腰への負担を減らす

③利用者の身体的・精神的苦痛の改善

- ▶ノーリフトケアによって移乗介助によるインシデントや、二次障害を減少させる

ノーリフトケアとは？

医療従事者や介護者の腰痛予防対策だけでなく、患者・利用者の安心安楽のために、ケアアセスメントを実施した上で行う、「抱えない・持ち上げない・引きずらない」ケア提供方法



取り組み内容

①ノーリフト委員会発足

- ▶多職種 (看護師・介護士・ケアマネージャー) で構成
- ▶リフトの追加設置開始 (2018年7台→2019年19台) ※故障と事故のリスクが少ない「天井走行リフト」がメイン
- ▶福祉用具を使用するための職員研修を実施。全職員に対し、**使用技術チェック(17項目)を用いたテスト**を行い、

技術の標準化を図る

- ▶年に1回、職員の腰痛調査を実施

②職員の習得度合いに合わせたノーリフト講座の受講を開始

- ▶介護職員全員 + 看護師2名 + 事務職員2名がベーシック講座の受講を修了

③専任看護師の設置

- ▶**移乗業務の件数・所要時間・利用者状況などを可視化**し、職員にノーリフトケアのメリットを実感してもらうことで、理解を促進する

④ノーリフトアプリの運用を開始

- ▶利用者のADLや使用福祉器具を入力し、全職員が統一したケアを提供可能に



成果・効果

①業務量の削減

- ▶リフトの増設によって、移乗に必要な人員が**2名→1名**に

②業務時間の短縮

- ▶ノーリフトケアにより、車椅子乗車や特別入浴介助などにおいて、移乗介助者一人あたり**1分23秒～1分36秒**の作業時間短縮を実現

③利用者にとっての安心安楽なケアの提供

- ▶臀部の褥瘡処置人数や、移乗時の内出血・表皮剥離が大幅に減少。ノーリフトケアにより利用者の拘縮、筋緊張が緩和
- ▶臀部褥瘡処置の減少に伴い、**衛生材料費用が削減**

④看護師の身体的・精神的負担が軽減

- ▶利用者のスキントラブルの減少で余裕を持った業務が可能になる。ラウンドや感染対策、今後の施策に費やす時間が増加
- ▶専門知識の習得により、利用者にとって適切なケアが行えることによる自信と安心感を得られた

⑤職員のチーム連携の向上。職員満足度もUP

- ▶多職種間で褥瘡発生機序を共有したことで、**介護士の対応能力が向上し、スキントラブル減少に寄与**
- ▶アプリ導入により、多職種間での情報共有が活発化